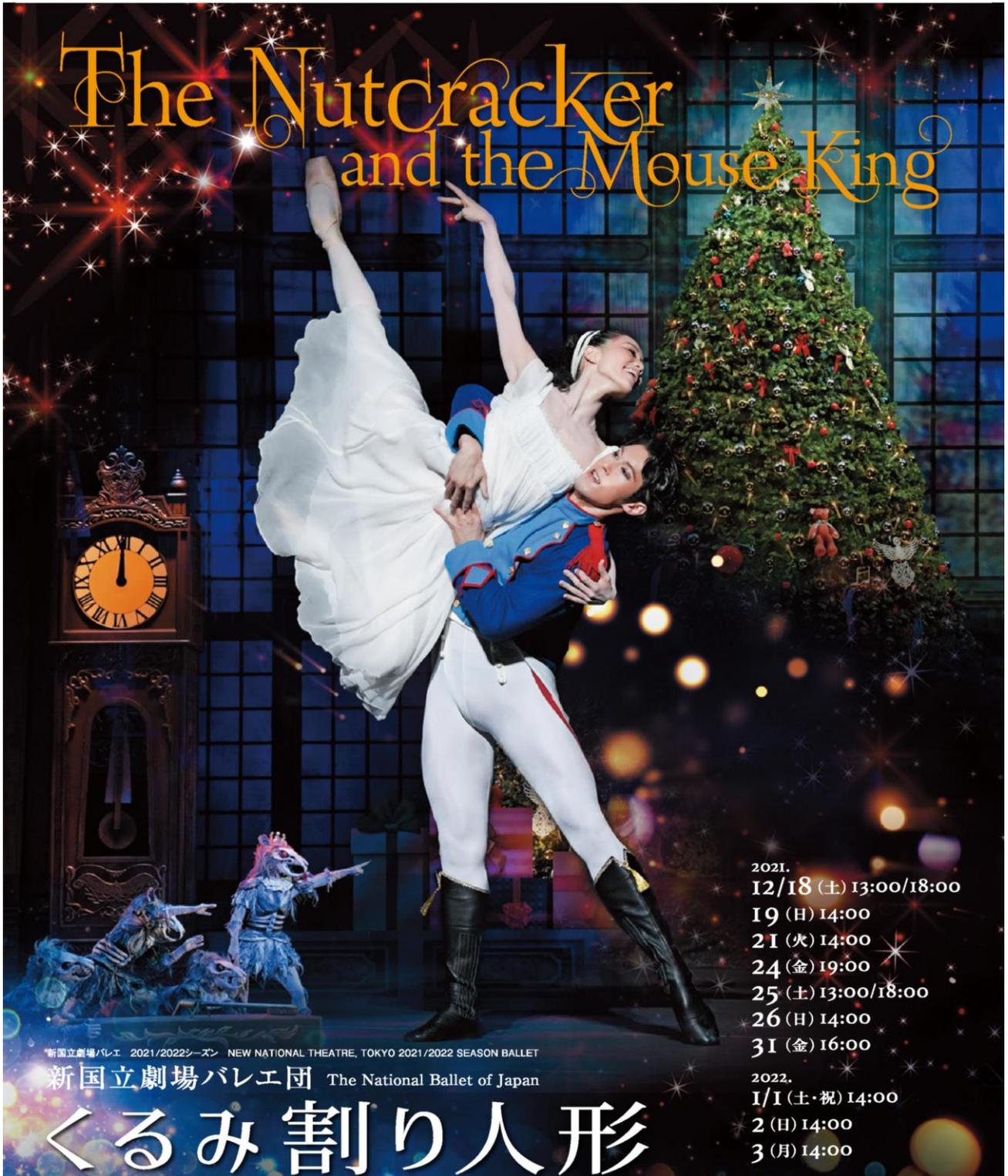


PRESS RELEASE

The Nutcracker and the Mouse King



新国立劇場バレエ 2021/2022シーズン NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO 2021/2022 SEASON BALLET

新国立劇場バレエ団 The National Ballet of Japan

くるみ割り人形

2021.
12/18 (土) 13:00/18:00
19 (日) 14:00
21 (火) 14:00
24 (金) 19:00
25 (土) 13:00/18:00
26 (日) 14:00
31 (金) 16:00

2022.
1/1 (土・祝) 14:00
2 (日) 14:00
3 (月) 14:00



資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

年末年始は色彩豊かで心躍る舞台を

2017年に初演された本作は、ウエイン・イーグリングによる華麗でスピーディーな振付、上品で華やかな美術や衣裳によって、古典名作の新境地を開いたと高く評価された人気演目です。「少女クララの夢」をテーマに、恋心を抱いた青年との冒険を通して大人への入り口を踏み入れていくクララの成長を描いています。再演を重ねることでさらに磨き上げられた舞台をご堪能ください。

なお、今回の公演は年末年始に上演時期を拡大いたします。クリスマス、年越し、お正月の特別なイベントとして、ぜひ『くるみ割り人形』をお楽しみください。

『くるみ割り人形』ご観劇のおすすめポイント3選！

その1：小さなお子様から大人まで、全ての方におすすめ！幸せいっぱいの舞台

今やクリスマス・シーズンの定番となったバレエ『くるみ割り人形』。

幸せて温かな気持ちになる作品で、バレエ初心者の方も、バレエ・ファンの方も劇場で至福の時をお過ごしいただけます。

雪の場面や花のワルツでは新国立劇場バレエ団が誇る美しいコール・ド・バレエ、2幕でのディヴェルティスマンなどではソリスト陣の多彩な踊りを堪能できます。



その2：チャイコフスキーのお馴染みの美しい音楽

「花のワルツ」をはじめ「行進曲」「こんぺい糖の精の踊り」など、有名な曲が次々と登場。チャイコフスキー三大バレエのなかでもひととき美しく親しみやすい音楽で、どなたにも楽しんでいただけます。

その3：劇場からのクリスマスプレゼント＆お年玉！ホリデーシーズンならではのお楽しみ企画

クリスマス・年越し・お正月に皆様をお迎えできることを記念して、対象公演回にご来場のお客様を対象にしたスペシャルプレゼント企画を実施します。ツリーなどが飾られた劇場空間と合わせて、ホリデーシーズンの特別な雰囲気をお楽しみください。

《スペシャルプレゼント企画①》来場者全員プレゼント

該当公演にご来場のお客様全員にプレゼントいたします。事前のご応募等は不要です。

対象公演・プレゼント内容

12月24日(金)19:00、25日(土)13:00/18:00

12月31日(金)16:00

1月1日(土・祝)14:00、2日(日)14:00、3日(月)14:00

オリジナルクリスマスカード

オリジナルノート (B5サイズ)

オリジナル年賀状 (デザインは日替わり)

《スペシャルプレゼント企画②》抽選会

該当公演にご来場のお客様全員にご参加いただける抽選会を実施いたします。

ご参加方法

- ①該当公演回の公演チケットをお持ちの全ての皆様にご参加いただける企画です。事前のご応募は不要です。
- ②終演後、ホワイエ内に抽選結果(座席番号)を掲出いたします。
- ③ご当選の方はチケットの半券を特設カウンターへご持参ください。お席番号を確認後、賞品をお渡しいたします。



対象公演

1月1日(土・祝)14:00 お正月抽選会

【プレゼント内容】

「吉田都セレクション」ペア招待券	2名様
ダンサー直筆サイン入り『くるみ割り人形』ポスター (A2 サイズ四つ折り) ※	5名様
『くるみ割り人形』舞台写真 (2L サイズ)	3名様
新国立劇場 2022 年カレンダー	5名様
新国立劇場フラットトート	3名様
ショップ&ビュッフェクーポン (1000 円分)	2名様

1月2日(日)14:00、3日(月)14:00 ミニ抽選会

【プレゼント内容】

ダンサー直筆サイン入り『くるみ割り人形』ポスター (A2 サイズ四つ折り) ※	5名様
---	-----

※ダンサー直筆サイン入りポスターはご観劇いただいた回のクララ、王子、ねずみの王様役のダンサーのサインが入ります。

ものがたり

クリスマス・イブ。クララの家ではパーティーの準備で忙しく、外では凍った運河の上で人々がスケートを楽しんでいる。謎めいたドロッセルマイヤーと、士官学校を卒業したばかりの彼の甥が到着する。ドロッセルマイヤーは招待客に手品を披露し、クララの姉のルイーズとルイーズを慕う3人の男性が踊りだす。ドロッセルマイヤーがクララに贈ったくるみ割り人形(以下、人形)をフリッツが壊してしまうが、ドロッセルマイヤーは魔法のように人形を元通りに直す。パーティーが終わり、クララが眠りにつくと、夢の中で人形は邪悪なねずみの王様に攻撃される。ねずみの王様がねずみたちを引き連れて現れると人形も勇敢な兵士に変身し、ねずみたちとの戦いに挑む。ねずみの軍隊が勝利し、人形は傷を負ってしまう。ドロッセルマイヤーがその場を収め、クララは人形から姿を変えた甥と二人ロマンティックなパ・ド・ドゥを踊る。しかし雪が降り始めるなか、ねずみの王様は甥を人形の姿に戻してしまう。居間が魔法にかかり、光り輝く雪片が降る白銀世界に変わっていく。ねずみの王様たちに追われるクララと人形は、ドロッセルマイヤーに救われて、魔法の地へと気球に乗って運ばれていく。一方でねずみの王様は一計を案じる。

魔法の地に到着した。甥はねずみの王様を打ち負かして、壮大な祝祭が始まる。中国、アラビア、ロシア、スペインなど世界中のダンサーたちが様々な踊りを見せる。ドロッセルマイヤーの魔法で美しい庭が現れ、その中でダンサーたちが花のワルツを踊る。最後にクララはこんぺい糖の精となり、王子になった甥とともに美しいパ・ド・ドゥを踊る。

クララは突然、寝室で目覚めた自分に驚く。フリッツとクララは外に出て、雪の中でドロッセルマイヤーとその甥に手を振って別れを告げる。子供たちは不思議な思いに包まれて二人を見送る。



2019年公演より

撮影：鹿摩隆司

スタッフプロフィール

【振付】 ウェイン・イーグリング Wayne EAGLING



カナダのモントリオール生まれ。ロンドンのロイヤル・バレエ学校で学び、卒業後1969年に英国ロイヤル・バレエに入団。1975年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。同バレエ団のレパートリーの主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシュトン、バランシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ビントレーといった振付家の作品に出演。ロイヤル・バレエ・スクール用に『R.B.Sque』(83年)、ロイヤル・バレエ公演に『フランケンシュタイン、現代のプロメテウス』(85年)などを創作。91年にダンサーとしての現役を引退し、その後13年間オランダ国立バレエの芸術監督を務める。オランダ国立バレエのための振付作品は、『Ruins of Time』(93年)、『魔笛』(98年)、『春の祭典』(2000年)など。05年から12年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督として『レゾリュション』(08年)、『Men Y Men』(09年)、『くるみ割り人形』(10年)、『遊戯』(12年)の振付を行っている。新国立劇場バレエ団では14年『眠れる森の美女』を改訂振付、16年『Men Y Men』日本初演、17年『くるみ割り人形』振付を手がけた。

【美術】 川口直次 KAWAGUCHI Naoji



1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤熹朔賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『バキータ』『こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』』、2014年『眠れる森の美女』、15年『ホフマン物語』、17年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。その他バレエの代表作としては、『新 白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては、『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほかに演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。

【衣裳】 前田文子 (MAEDA Ayako)



1988年より緒方規矩子に師事。95年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスへ留学。新国立劇場では演劇公演『喪服の似合うエレクトラ』『夢の痂』『ヘンリー六世』『雨』『リチャード三世』『アジア温泉』『プレス・オブ・ライフ』『星ノ数ホド』『オレスティア』『骨と十字架』『リチャード二世』、オペラ公演『蝶々夫人』『鹿鳴館』、バレエ公演では石井潤『カルメン』、ダレル『ホフマン物語』、イーグリング『くるみ割り人形』、ダンス公演の伊藤キム『close the door, open your mouth』、前田清実『きらめく背骨』の衣裳も手がけている。95年度伊藤熹朔賞新人賞、第10回・第25回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、2003年度伊藤熹朔賞、06年第5回橘秋子舞台クリエイティブ賞、18年第53回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。

【照明】 沢田祐二 (SAWADA Yuji)



東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を研修。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレスティア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊國屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

【指揮】

アレクセイ・バ克蘭 Alexei BAKLAN



ウクライナ国立歌劇場指揮者。1987年、キエフ国立音楽院を卒業後、ウクライナ国立歌劇場にて指揮者を務める。95年、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者に就任。ウクライナ芸術功労活動家の称号を授与される。ウクライナ国立歌劇場では『マーメイド』『コッペリア』『ウィンナー・ワルツ』『海賊』、また、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場では『リゴレット』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデール』『ジゼル』『白鳥の湖』『不死身のカシェイ』（リムスキー＝コルサコフ）、『森の詩』（スコルリスキー）などのオペラ、バレエに指揮者・音楽監督として参加。ベートーヴェン『交響曲第9番』、ロッシニ『スターバト・マーテル』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などを手がける。2003年、06年にはメキシコで、世界のバレエ界のスターたちを集めて行なわれたガラ・コンサート《バレエティッシモ》で指揮を務めた。06年にザグレブ国立歌劇場に招かれたほか、

メキシコシティ国立バレエ団に度々招かれ、『ロメオとジュリエット』などの指揮を務める。また、ウクライナ国立歌劇場のドイツ、フランス、スペイン、スロベニア、ポルトガル、韓国、南アフリカ、メキシコ公演、およびキエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場イギリス公演（05、06、07年）に参加。新国立劇場バレエ団では08年以降、『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント』『大フーガ』『テーマとヴァリエーション』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ジゼル』『ライモンダ』などで指揮を務めている。

富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『パキータ』『ペンギン・カフェ』『白鳥の湖』を指揮した。

配役・プロフィール

2021年 12月	18日 (土) 13:00	18日 (土) 18:00	19日 (日) 14:00	21日 (火) 14:00	24日 (金) 19:00	25日 (土) 13:00	25日 (土) 18:00	26日 (日) 14:00	31日 (金) 16:00
クララ	米沢 唯	木村優里	池田理沙子	柴山紗帆	木村優里	池田理沙子	米沢 唯	小野絢子	小野絢子
王子	井澤 駿	渡邊峻郁	奥村康祐	渡邊峻郁	渡邊峻郁	奥村康祐	井澤 駿	福岡雄大	福岡雄大

2022年 1月	1日 (土・祝) 14:00	2日 (日) 14:00	3日 (月) 14:00
クララ	米沢 唯	柴山紗帆	小野絢子
王子	井澤 駿	渡邊峻郁	福岡雄大



※当初発表していたキャストから変更がございます。

【クララ/こんぺい糖の精】

小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>



東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。

米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>



愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。

木村 優里 KIMURA Yuri <ファースト・ソリスト>



千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。19年ファースト・ソリストに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

池田 理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>



東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。Kバレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』やF.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ピントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』などで主役を踊り好評を博している。

柴山 紗帆 SHIBAYAMA Saho <ファースト・ソリスト>



東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ女王、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。21年ファースト・ソリストに昇格。イーグリング版『くるみ割り人形』は今回が初主演となる。

【ドロッセルマイヤーの甥/くるみ割り人形/王子】

井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>



群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精・ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞。

奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>



大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』などといった古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』では王子とねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを初演している。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞。

福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>



大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>



福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、R.プティ『コッペリア』フランツ、中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』ゲーテ/シラー、「Shakespeare THE SONNETS」などを踊り好評を博している。

公演概要

2021/2022 シーズン

新国立劇場バレエ団「くるみ割り人形」

The Nutcracker and the Mouse King

芸術監督	吉田 都
振付	ウエイン・イーグリング
音楽	ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
美術	川口直次
衣裳	前田文子
照明	沢田祐二
指揮	アレクセイ・バクラン／富田実里
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
合唱	東京少年少女合唱隊
出演	新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2021年12月18日（土）13:00
2021年12月18日（土）18:00
2021年12月19日（日）14:00
2021年12月21日（火）14:00
2021年12月24日（金）19:00
2021年12月25日（土）13:00
2021年12月25日（土）18:00
2021年12月26日（日）14:00
2021年12月31日（金）16:00
2022年1月1日（土・祝）14:00
2022年1月2日（日）14:00
2022年1月3日（月）14:00

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

*ロビー開場は開演 60 分前、客席開演は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 2 時間 1 5 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/nutcracker/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	13,200円	11,000円	7,700円	4,400円	3,300円	1,650円

*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィス別ウィンドウで開きますおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行発売日：10月17日（日）10:00～19日（火）

バレエ／ダンス先行メンバーズ販売期間：10月18日（月）10:00～19日（火）

一般発売日：10月24日（日）10:00～

*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1階1列～2列の座席は販売いたしません。

*通常の座席配置（1階1列～2列を除く）での販売を予定しております。

*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

*年末年始のボックスオフィスの営業時間は下記のようになります。電話・窓口はそれぞれ営業日・営業時間が異なりますのでご注意ください。Web ボックスオフィスは年末年始も通常通りご利用いただけます。

☎ 12/26（日）～12/28（火）・12/31（金）・1/4（火）～1/7（金）：10～18時

12/29（水）・12/30（木）：11～15時

1/1（土・祝）～1/3（月）：10～16時

🪟 12/26（日）・1/1（土・祝）～1/3（月）：12～14時

12/31（金）：14～16時

12/27（月）～12/30（木）・1/4（火）～1/7（金）：休業

*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

詳細：新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html